

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成20年5月15日(2008.5.15)

【公開番号】特開2002-308978(P2002-308978A)

【公開日】平成14年10月23日(2002.10.23)

【出願番号】特願2001-118374(P2001-118374)

【国際特許分類】

C 0 8 G 64/16 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 G 64/16

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月2日(2008.4.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

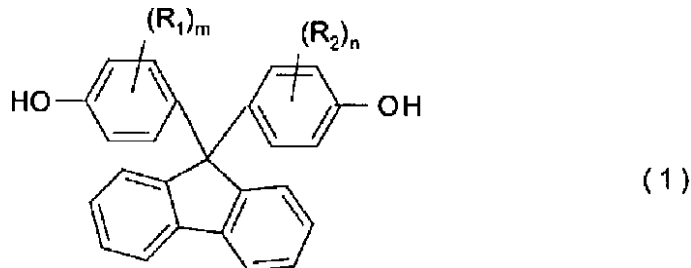
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

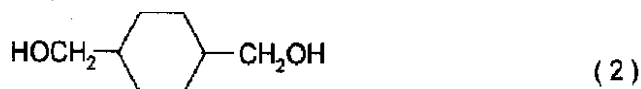
【請求項 1】一般式(1)、一般式(2)及び一般式(3)と、炭酸エステル形成化合物とを反応させて得られるポリカーボネートであって、一般式(1)/一般式(2)のモル比が70/30～5/95であり、一般式(3)/〔一般式(1)+一般式(2)〕のモル比が0/100～50/50であるコポリカーボネート樹脂。

【化 1】

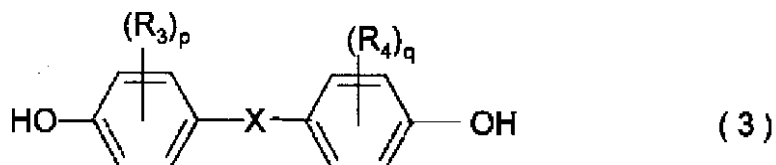


(式中、 $R_1 \sim R_2$ は、それぞれ独立して、水素原子、ハロゲン原子、炭素数 1 ～ 20 のアルキル基、炭素数 1 ～ 20 のアルコキシ基、炭素数 6 ～ 20 のアリール基、炭素数 6 ～ 20 のシクロアルキル基、炭素数 6 ～ 20 のシクロアルコキシ基または炭素数 6 ～ 20 のアリールオキシ基を示す。また、 m 及び n は 0 ～ 4 の整数を表す。)

【化 2】

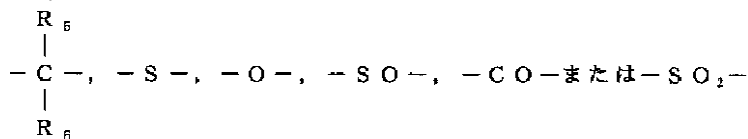


【化 3】



(式中、 $R_3 \sim R_4$ は、それぞれ独立して、水素原子、ハロゲン原子、炭素数 1 ~ 20 のアルキル基、炭素数 1 ~ 20 のアルコキシ基、炭素数 6 ~ 20 のシクロアルキル基、炭素数 6 ~ 20 のアリール基、炭素数 6 ~ 20 のシクロアルコキシ基または炭素数 6 ~ 20 のアリールオキシ基を表す。また p 及び q は、0 ~ 4 の整数を表す。X は、

【化 4】



であり、 $R_5 \sim R_6$ は、それぞれ独立して、水素原子、炭素数 1 ~ 10 のアルキル基または炭素数 6 ~ 10 のアリール基であり、 R_5 と R_6 とが結合して炭素数 3 ~ 8 の炭素環または複素環を形成する基を表し、これらの基に炭素原子を有する場合には置換基として、炭素数 1 ~ 5 のアルキル基、炭素数 2 ~ 5 のアルケニル基、炭素数 1 ~ 5 のアルコキシ基を有することもできる。)

【請求項 2】 一般式 (3) 中の R_5 及び R_6 がメチル基である請求項 1 記載のコポリカーボネート樹脂。

【請求項 3】 前記の一般式 (1)、一般式 (2) 及び一般式 (3) と炭酸ジエステルとを、塩基性化合物触媒下、溶融重縮合させてなる請求項 1 記載のコポリカーボネート樹脂。

【請求項 4】 前記の一般式 (1)、一般式 (2) 及び一般式 (3) の合計量 1 モルに対して、 $10^{-9} \sim 10^{-3}$ モルの塩基性化合物からなる触媒を用いる請求項 3 記載のコポリカーボネート樹脂。

【請求項 5】 一般式 (1) で表される芳香族ジヒドロキシ化合物の R_1 及び R_2 がメチル基である請求項 3 記載のコポリカーボネート樹脂。

【請求項 6】 光学材料用の請求項 1 記載のコポリカーボネート樹脂。

【請求項 7】 光ディスク用の請求項 1 記載のコポリカーボネート樹脂。

【請求項 8】 プラスチックレンズ用の請求項 1 記載のコポリカーボネート樹脂。